



第1回 ツツジの剪定 2016.4.30

今でしょう

「ツツジの^{せんてい}剪定」は今です。これをやることにより「花の季台」全体が整って見えます。

また、**ほおっておくと雑木林になり「蚊」の発生源になりかねません。**

ツツジの花が咲き終わって「**花がらが出来る**」頃が**ツツジの剪定の時期**です。花がらとりは大変手間がかかりますが、剪定をしてから取りますと簡単です。

剪定のためのワンポイントアドバイス

- ① 剪定されてきれいにととのっているツツジ。
 - ・いまのままで、10cm短く切りそろえるだけでいいでしょう。
- ② 背丈が乱れていて長・短が混じっているツツジ。
 - ・短いところから 10 cm短く丈を合わせて切りそろえましょう
- ③ 背丈が乱れ、紅カナメ・キンモクセイなどと同等になっているツツジ。
 - ・不要な枝の徒長枝(とちょうし)は根元から切り取ってしまいます。(今、切りすぎても枯れることはありません。思いきって剪定してください。)
 - ・全体の背丈は隣・近所とのバランスを考えて剪定します。大きな枝を切ることになりますが、ケガのないように注意しましょう。長袖を着ましょう。(きれいな整った生け垣になるまで2~3年は、かかると思います。)



こんなことが起きます

今の時期にひと月も遅れて剪定すると、来年は花が咲きません。

花が咲き終わると来年の花芽が 2~3週間で準備されますので、ひと月遅れの剪定は花芽を切りとってしまうことになるからです。

サツキの剪定も、花が咲き終わって、花ガラが出来る頃です。

※資料はみどりづくり講座「庭木の管理」を参考にしました